

日本瓦斯株式会社に対する 「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

～日本銀行の「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション」の枠組みを活用～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、日本瓦斯株式会社（代表取締役社長執行役員：柏谷 邦彦、以下「ニチガス」）に対し、包括型サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下「包括型 SLL フレームワーク」）に基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下「本件」）を本日実行しました。

本件は、日本銀行の「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）」（※1）の枠組みにおいて、みずほ銀行が気候変動対応に資すると判断する融資案件となります。

サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）は、金利条件等の貸付条件と借り手の ESG 戦略に対するパフォーマンス評価が連動した、持続可能な経済活動および成長を推進するローン形態です。

本件のサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）は、ニチガスのガスと電気をセットでご契約のお客さまの世帯あたり CO2 排出量約 50%削減（2020 年 3 月期比）の実現に向けた中間目標の達成状況です。達成した場合は金利条件を引き下げる仕組みとなっています。

なお、本件は、株式会社格付投資情報センター（R&I）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、並びに環境省による「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版」への適合性について第三者意見書（※2）を取得しています。

ニチガスは、サステナビリティに向けた重要な取り組みの一つとして脱炭素社会への貢献を掲げており、本件の SPT は企業理念および環境施策に合致するものです。今後、ニチガスは、エネルギーソリューションへの事業の進化及び NICIGAS スマートシティの実現を通じて、持続可能な社会に向け、脱炭素を進めながら企業価値を向上させていきます。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

<案件概要>

融 資 先：日本瓦斯

貸 出 金 融 機 関：みずほ銀行

実 行 日：2023年11月10日

実 行 額：18億円

資 金 使 途：長期運転資金

S P T：2027年3月期の「ガスと電気をセットでご契約のお客さまの世帯あたりCO2排出量」を2020年3月期対比29%以上削減すること

※1：本枠組みは民間における気候変動対応を支援するため、日本銀行が資金を貸付ける資金供給オペレーションです。当行は本枠組みの対象先に選定されており、温室効果ガス排出量の削減に資するお客様の取り組みを、ファイナンスを通じ支援しております。詳細については以下リンクをご参照ください。

(https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20211201release_jp.pdf)

※2：株式会社格付投資情報センター（R&I）による第三者意見書をご参照ください。

(<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>)

以 上